

# 審議した主な議案

## 令和6年度一般会計 補正予算(第6回)

予算の概要は1面に掲載しています。

### 反対討論(要旨)

#### 高木章成(子どもの権利)

子どもの権利を守る会を代表して、令和6年度一般会計補正予算(第6回)への反対討論を行う。令和4年11月27日に白井市長が就任し2年余りが経ち、1期目の任期の折り返し点を越えたが、この2年余りに提出された予算から独自の政策意思は読み取れない。本補正予算の議決で新庁舎建設はターニングポイントとなるが、見直し案を踏まえてコストダウンを行うべきだ。また、コンビニ各種証明書交付手数料10円の根拠は示されていない。よって反対する。

### 賛成討論(要旨)

#### 五十嵐京子(自民党・信頼)

庁舎等建設工事費の債務負担行為補正に関して、今後の市政運営においては、市民生活に影響を及ぼさないよう努力をお願いしたい。第一小学校の校舎建て替え、学校給食の無償化、コンビニ交付取扱手数料減額施策事業、保存文書削減のための内部情報複合機等導入事業、地域公共交通計画に関する費用、学童保育に関する費用など市民生活に密着する課題のための補正予算であり、課題解決のためにしっかりと市政運営に当たっていただきたいと要望する。

### 賛成討論(要旨)

#### 沖浦あつし(みらい)

庁舎・(仮称)新福祉会館建

設事業が令和3年11月に事実上中断する際にも、中断は市民のためにならないと主張した。結果、3年の時間と建設工事費急騰が生じた。これ以上、庁舎問題で立ち止まれば、市政まじづくりの停滞を免れない。我々の任期中に道筋をつけるべきである。また、市立小中学校給食費無償化や運行事業者のCO2削減パス2路線撤退の申入れに端を発した交通ネットワーク再編事業等、市民生活に直結する重要政策を含む本予算に賛成する。

### 賛成討論(要旨)

#### 小林正樹(公明党)

市立小中学校給食費補助については、東京都の実質8分の7の補助(毎年約5億円)が決まり、小金井市でも実施の決断をされたことに感謝申し上げる。新庁舎・(仮称)新福祉会館建設工事費について、今後、一般会計への負担を減らす財政運営や地域貢献策やネーミングライツ、福祉会館部分の利用方法の検討再開、時代に合ったDXの推進、シャトルバスや北側交差点の問題を含めた課題解決等、4年後の供用開始に合わせて準備を進めることを強く要望する。

### 賛成討論(要旨)

#### 水谷たかこ(こがおも)

最大の理由は、新庁舎等建設事業だ。跡地活用を含む公共施設の再配置等も動き出すことができ、まちづくりが前に進む。こがおもが提案してきたコンビニ交付手数料10円キャンペーンは利用経験がない市民への動機付けとなり、繁忙期の窓口業務改善が期待できるとともにフ

ロントヤード改革にも資する。他にも学校給食無償化、児童生徒数増加への環境整備や学童保育育成室整備、保育園の運営補助金、都市計画道路や公共交通等の重要事業があり賛成する。

### 賛成討論(要旨)

#### 安田けいこ(生活者ネット)

市民福祉の増進に関わる重要な予算のため賛成する。新庁舎等建設は市民の理解が深まるよう広報の充実を望む。本来国において無償化すべき学校給食については、物価高騰でも質を落とさない創意工夫に感謝する。本市で予防接種健康被害が確認されたHPVワクチン接種は積極的勧奨を取り止めるべき。副反応の指定医療機関受診者が増えている。デメリットについての注意喚起と学校教職員への周知を強く要望する。

## 市役所庁舎変更に関する条例の一部を改正する条例

条例の概要は1面に掲載しています。

### 賛成討論(要旨)

#### 渡辺大三(子どもの権利)

2008年、市民団体が庁舎建設場所を、庁舎建設予定地とするか、南口再開発の第二地区とするか、住民投票で決するべきとして直接請求署名運動を展開。私も署名運動に参加。署名は1万人を超え成立したが、市議会は1票差で否決。市民検討委員会は、1万人意向調査を実施。庁舎建設予定地に建てるべきとした市民が62%、南口第二地区再開発ビル庁舎とすべきとした市民が10%、圧倒的大差で庁舎建設予定地が市民に支持された。

## 市議会議員定数 条例の一部を改正 する条例(議員提案)

9月26日の本会議において、議会運営委員会(岸田正義委員長)に付託し、11月21日及び29日の委員会で審査を行いました。

### 賛成討論(要旨)

#### 本条例は、多摩26市中、人口11万人台から12万人台の類似3団体では議員定数が全て22人であることや市民アンケート及び公聴会などで市民意向を確認していること、現在1人欠員であることなどを踏まえ、議員定数を24人から23人とし、1人削減することを議員が提案したものです。

11月29日の委員会では、起立採決の結果、起立少数により、否決しました。12月5日の本会議では、起立採決の結果、否決しました。

### 賛成討論(要旨)

#### 河野麻美(自民党・信頼)

人口や面積、財政規模が類似する市は、既に22名に削減している。今任期は1名欠員で運営してきた実績もあり、議会の合意形成を図るため、1減の23名で提案した。議会基本条例第21条に則り公聴会を開催し、市民アンケートも実施した。定数が多いと感じる市民は26.2%、適当16.7%、少ない0%という結果であり、12万人の市民と未来を担う世代のために良いまちをつくる努力は、行政だけでなく議会も多様な市民の声を聴き、真摯に取り組みべきである。

### 反対討論(要旨)

#### 村山ひでき(みらい)

市民の声をもとに1人の議員だけが主張する政策テーマがある。議員削減は、広く市民の意見を拾い上げる芽を摘んでしま

う可能性があり、行政に対するチェック機能の弱体化にもつながる。多様な議員で構成される市議会が望ましい。市民は、議会に對して「議員定数・報酬の検討」よりも、「市民の声が反映できること」や「行政への提案」、「チェック機能」を、より望んでいるという2022年9月上旬に実施された市民アンケートの結果を受け止めるべき。

### 賛成討論(要旨)

#### 渡辺ふき子(公明党)

提案理由のとおり、現在、多摩26市中、小金井市を除く人口11~12万人台の類似3市(昭島市、国分寺市、東久留米市)の全てが議員定数22人であり、小金井市議会だけが24人と突出している。これまで2減を提案してきたが、今回は削減に慎重な議員の意見も加味し、現状1人欠員であることから、大きな変化を伴わない1減を提案した。議会だけを聖域化することなく、一人ひとりが精鋭化し、より一層市民の皆様のお役に立てるよう努めていかななくてはならない。

### 賛成討論(要旨)

#### 清水がく(街の仲間たち)

議員定数の削減は議会改革において有用な手段であることは申し上げる。しかし、本議員案は議会の「量」のみの提案であり、「質」の部分については全く提案されていない。「量」のみの効率化では、本来の議会改革とは言えない。議員定数、報酬深夜にまで及ぶ審査にかかる時間数、同じ内容の質問が繰り返される状況等を含めた、「質」と「量」の議会改革について集中して議論し、そして、期限を設け、求められる議会改革の結果を出していこうではないか。

## 「違法な専決処分」に基いて 制定された廃止条例は無効」との東京地裁判決を ふまえ、公立保育園の 安定的運営を求める陳情書

### 賛成討論(要旨)

#### 片山かおる(子どもの権利)

現在は違法な行政。行政法学者などからの法律意見書に対して、市は法的エビデンスを示した答弁をしていない。たった1人だけ入園を許可された原告のお子さんの保育が課題。小金井市子どもの権利条例にも背き、子どもの最善の利益にも反する。適切な規模での募集再開を行い違法な行政運営を正すべき。その上で公立保育園の在り方の検討を進めないと真つ当な検討ができない。これまでの経緯を資料で委員に示し、審議に臨んでいただくのは当然のことである。

### 賛成討論(要旨)

#### 森戸よう子(日本共産党)

廃園に向けた段階的縮小をやめ、保護者の切実な願いに応え、0歳児・1歳児の募集再開を求めることは、判決結果からも当然である。行政法等に造詣が深

い専門家からも法律による行政の原理のつとり、募集すべきであるとの見解が示された。また、子どもと保護者の人権が著しく阻害されており、1日も早い、是正が求められている。公立保育園5園の保護者から再三再四、再開募集を求められているが、手を打たない市長の市民軽視の姿勢は問題である。

## 学校給食費の無償化を 求める陳情書

### 賛成討論(要旨)

#### たゆ久貴(日本共産党)

学校給食費の無償化は市民や保護者の切実な願いであり、その実現が必要である。署名総数は2千9筆となった。日本共産党は学校給食費の無償化及び負担軽減・値上げ中止などを、何年も前から議会及び委員会での質疑や一般質問で取り上げるなど求め続けてきた。予算の組替え動議、条例提案なども繰り返して行ってきた。2017年から市議会でも条例提案を3回、都議会議員とともに質問や申入れなど10回以上要求してきた。実現して良かった。

任期満了に伴う  
小金井市議会議員選挙  
令和7年3月23日(日)  
投開票  
(3月16日告示)

投票に行こう!!



各案件に対する討論の原稿は、議員が作成しています。